

愛知労使共同研究報告

長時間労働から 効率的な働き方への転換

～職場でのワークライフバランスへの取り組み～

本件に関するお問合せ先
愛知県経営者協会（内線 550）
 企画・海外グループ 牧野
 名古屋市中区栄 2-10-19 会議所ビル 7 階
 Tel 052-221-1931 / Fax 052-221-1935

愛知県経営者協会と連合愛知では、毎年、時宜に応じたテーマで「労使共同研究」を行なっている。平成 22 年度は、近年、重視されてきている“ワーク・ライフ・バランス”に向けての取り組みとして「長時間労働を改善するための課題」と「効率的な働き方への全社的な取り組み」を探った。今回の研究結果を『長時間労働から効率的な働き方への転換』として冊子にまとめた。

[労使共同研究の趣旨]

愛知県経営者協会と連合愛知は、当地域の発展と勤労者福祉の向上のために企業労使、個人、行政の果たすべき役割について時宜に応じテーマを選定し研究・提言を行なっている。

[研究テーマの設定の背景と経緯]

ワークライフバランスは、時代の要請でもあり労使双方にとって大事な観点でもあるとの認識に立ち、平成 21 年より「職場でのワークライフバランスの推進を支援する」ためにどのような取り組みが行なわれているかを検討してきた。今回は、ワークライフバランスには「長時間労働の是正」、「効率のよい働き方」が必要との観点から現状の課題と改善のために参考となる事例を探した。

連合愛知は、加盟する労働組合に「長時間労働となっている現場の実状」をヒアリング。愛知県経営者協会は、会員企業の中から「効率的な働き方」への取り組み事例を探した。

[研究報告書の内容]

・ 長時間労働の是正にむけた課題の洗い出し ～連合愛知のヒアリングによる加盟組合の例～

- ・ 取引先、顧客の要望や納期に応えなければならないことが長時間労働の是正を阻害する要因として上げる声が多い。労働者からは、他部門との連携不足という声とともに業務の平準化や棚卸し、適正な評価と処遇を求められている。これに対し解決策として、労使で「検討する場」を設け、現状把握、目標・対処策の検討、対策の実施、対策後の点検・評価、など PDCA を着実に実践することが重要としている。

・ 効率的な働き方をめざした取り組みの実例を紹介 ～(株)INAX、豊田通商(株)の例～

- ・ (株)INAX での事例……思い切った発想の転換を行なうために、「全社」「部門」「自分」で改善すべき課題を半分にするという「HANBUN 活動」を紹介。時間外業務の削減により業績も向上した。
- ・ 豊田通商(株)での事例……「いきいきと働ける職場づくり」を目的として、「ルールづくり」「上司・社員の意識改革」「トップからの発信」「人員配置の見直し」「残業実態チェック調査」の 5 つの取組みを紹介。残業に対する社員の意識の変化によって、ワークライフバランスを上手く取りながら働きたいと思う社員が増えてきた。

・ 仕事や個人の特性と長労働時間との関係 ～労働政策研究・研修機構 小倉一哉氏の研究～

- ・ 長時間労働になりやすい要因を解析「会議や打ち合わせが多い」「残業を前提に仕事の指示がある」「これまで高い人事評価を受けてきた」場合には、非管理職・管理職ともに長時間労働になりやすいという傾向にある。